ADDZEST

CDコントロール、AM/FMチューナー付
CDデッキ

DRX9255EXL

取扱説明書

このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- ●安全運転のため、ご使用の前に『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ●お読みになったあとは、いつでも見られる場所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。
- ●保証書（別添）はお買求めの販売店で記入しますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ●この取扱説明書には、C-BUSで結線されるCDチェンジャーの操作説明も含まれています。（CDチェンジャーをお買い求めの場合、操作説明書は付属していません）

目　次

■はじめに

主な特長 4
ご使用の前に 5
　安全に正しくお使いいただくために 5
　安全上のご注意 5
各部の名称とはたらき 8

■基本の操作

電源を入れる／音量調節、モード選択する 10
　電源を入れるには 10
　電源を切るには 10
　音量を調節するには 10
　モードを選ぶには 10
音質を調整する 11
　低音域（BASS）を調整するには 11
　高音域（TREBLE）を調整するには 11
バランス、フェダーを調整する 12
　バランスを調整するには 12
　フェダーを調整するには 12
ディスプレイの表示を切換える 13
時刻を合わせる 14
　時刻を合わせるには 14
ビープ音のON／OFFと照明色の切換 15
　スイッチ操作時のビープ音をON／OFFするには 15
　照明色を切換えるには 15

■ラジオの操作

ラジオ放送を聴く 16
　ラジオモードを選ぶには 16
　選局するには（プリセット選局） 16
　AMステレオ／モノラルを切換えるには 16
選局する 17
　自動選局するには 17
　手動選局するには（マニュアル選局） 18
放送局をメモリーする（プリセットメモリー） 19
　プリセットメモリーするには（マニュアルメモリー） 19
　自動メモリーさせるには（オートストア） 20
　放送局を確かめるには（プリセットスキャン） 20
FMダイバーシティをON／OFFする 21
　FMダイバーシティをON／OFFするには 21

■CDの操作

CDを聴く（CDモード） 22
　CDを入れるには 22
　CDを取出すには 22
　すでに入っているCDを聴くには 23
　次の曲／前の曲を選ぶには 24
　早送り／早戻しするには 25
　最初の曲から聴くには（トップ機能） 25
いろいろな演奏のしかた 26
　聴きたい曲を探すには（スキャン演奏） 26
　繰返し聴くには（リピート演奏） 26
　ランダムに演奏を聴くには 27

■CDチェンジャーの操作

CDチェンジャーでCDを聴く（CDチェンジャーモード） 28
　CDチェンジャーモードを選ぶには 28
　聴きたいCDを選ぶには 28
　次の曲／前の曲を選ぶには 29
　早送り／早戻しするには 29
　聴きたいマガジンを選ぶには 30
　1つのマガジンだけを聴くには（マガジンロック） 30
いろいろな演奏のしかた 31
　スキャン演奏させるには 31
　ディスクスキャン演奏させるには 31
　リピート演奏するには 32
　ディスクリピート演奏するには 32
　ランダム演奏するには 33
　ディスクランダム演奏するには 33

■そ の 他

システム配線例 34
　システムアップについて 35
ご参考に 36
　本体のお手入れについて 36
　取扱い上の注意 36
　CDについて 37
故障と思われる前に 38
エラー表示について 39
アフターサービスについて 40
製品構成 41
仕　様 42

主な特長

本機は、AM/FMラジオとCDデッキを一体にし、別販のCDチェンジャーを接続してコントロールできるセンターユニットです。
なお、本機をご使用いただくには、別販のパワーアンプが必要です。

■チューナー部

- FMダイバーシティチューナー搭載
- AMステレオ対応
- FM、AM各12局のプリセットが簡単なオートストア機能
- メモリー局を順に受信するプリセットスキャン機能

■CDプレイヤー部（CDチェンジャーコントロール部）

〔CDチェンジャーコントロール部は、別販のCDチェンジャーを接続した場合です。〕

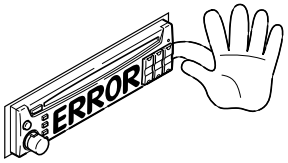
- 高性能20bit D/Aコンバーター搭載。SN比110dB、ダイナミックレンジは100dBと高性能です。
- ALPHAプロセッサー＊搭載。デジタルデータの補完を行い、16ビットデータを20ビットクオリティで再現。CD再生時の微細信号もひずみなくなめらかに再現します。
  ＊ALPHAプロセッサーは、日本コロムビア(株)の開発技術です。
- 8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター採用
- 光デジタル入力端子装備。同端子装備のCDチェンジャー等とデジタルダイレクト接続し、ハイクオリティサウンドをお楽しみいただけます。（専用デジタル光ファイバーケーブルが必要）
- 演奏中の曲やCDを繰返し演奏するリピート機能
- CD内の各曲や各CDの1曲目を10秒間ずつ再生するスキャン機能
- 1枚のCDまたは全CDの曲を順不同に演奏するランダム機能
- CDチェンジャーは、6枚、12枚タイプに対応

■総合部

- セパレートDC/DCコンバーター採用。駆動電圧を上げて、ノンクリップ9.0Vのハイボルテージアウトプットを実現。また本体との分離により、優れたSN比を確保しています。
- 音質重視の高品位アナログボリュームを採用。ディスプレイには視認性のよいFL管を使用。
- CDチェンジャーのダイレクトオペレーションスイッチに、ディスクインジケーターを配置。視認性と操作性が大幅に向上しています。

エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、39ページを参照して障害を取除いてください。障害を取除けば、通常の動作にもどります



ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この『取扱説明書』および『取付・結線ガイド』への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく確認してから本文をお読みください。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。
	⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	❗ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用の前に『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所（グローブボックス等）に必ず保管してください。

ご使用の前に

■ 使用上のご注意

⚠警告

●走行中は運転者による操作をしない…
運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

●走行中は、ピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない…
運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。

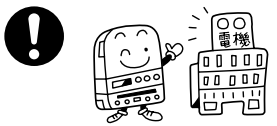
●本機を分解したり、改造しない…
事故や火災、感電の原因となります。

●音が出ないなどの故障状態で使用しない…
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談ください。

●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなど異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談する…
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

●本機の取付・取付の変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…
専門技術と経験が必要です。



■ 使用上のご注意

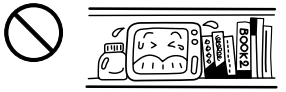
⚠注意

●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

●CD挿入口に手や指を入れない…
怪我の原因となることがあります。

●CD挿入口に異物を入れない…
火災や感電の原因となることがあります。

●本機を車載用以外には使用しない…
感電やケガの原因となることがあります。



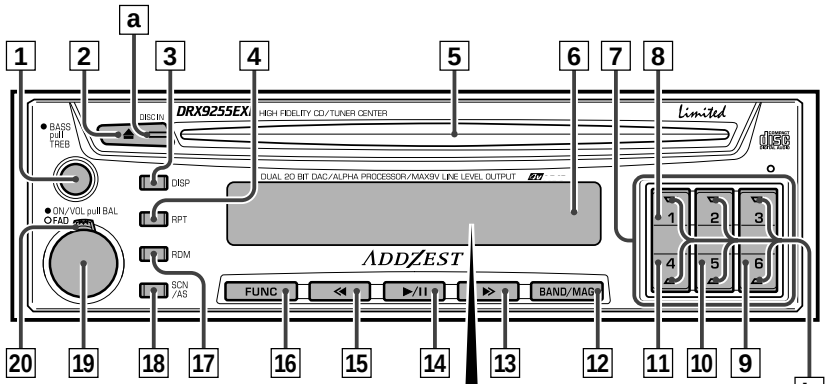
●アンテナの折れ曲がった状態で使用しない…
歩行者などに接触してケガの原因となることがあります。

●ディスプレイ部などの樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない。
部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。

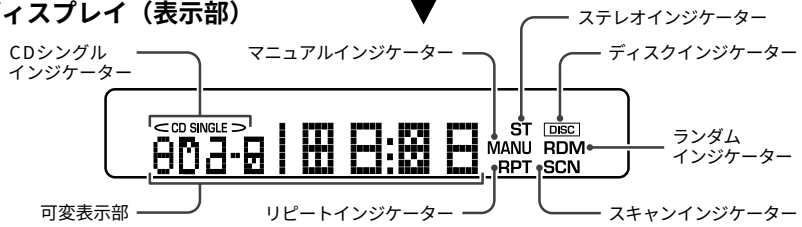
●電源を切るときは、音量を最小にする…
電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

各部の名称とはたらき

本　体



ディスプレイ（表示部）



※上図のディスプレイはすべてを表示した状態を示しているため、実際とは異なります。

1 **低音／高音域調整（BASS／TREB）ツマミ**
低音／高音域(バス／トレブル)を調整します。

2 **イジェクト（⏏）ボタン**
CDが入っているときに押すと、CDがイジェクトされます。

3 **ディスプレイ（DISP）ボタン**
ディスプレイ表示を切換えます。

4 **リピート（RPT）ボタン**
CDモード／CDチェンジャーモード時に、繰返し演奏します。

5 **CD挿入口**

6 **ディスプレイ**

7 **プリセット／ダイレクトボタン（1〜6）**
ラジオモード時は、放送局をメモリーして、直接呼出します。
CDチェンジャーモード時は、演奏するCDを指定します。

8 **ダイレクト1ボタン**
ディスプレイボタンを押しながらこのボタンを押すと、イルミネーションが切換わります。

9 **ダイレクト6ボタン**
AM放送受信時にバンドボタンを押しながらこのボタンを押すと、AM放送受信時のステレオとモノラルが切換わります。

10 **ダイレクト5ボタン**
FM放送受信時にバンドボタンを押しながらこのボタンを押すと、FMダイバーシティ受信をON／OFFします。

11 **ダイレクト4ボタン**
ディスプレイボタンを押しながらこのボタンを押すと、操作（ビープ）音をON／OFFします。

12 **バンド（BAND）／マガジン（MAG）／トップ（TOP）ボタン**
ラジオモード時は、バンドの切換えや、自動／手動選局を切換えます。
CDモード時は、最初の曲を演奏します。
CDチェンジャーモード時は、マガジンの切換え、マガジンロックに使用します。

13 **アップ（⏩）ボタン**
ラジオモード時は選局、CDを聴くときは選曲します。
各種設定にも使用します。

14 **プレイ／ポーズ（▶/⏸）ボタン**
CDモード／CDチェンジャーモード時に、演奏／一時停止します。

15 **ダウン（⏪）ボタン**
ラジオモード時は選局、CDを聴くときは選曲します。
各種設定にも使用します。

16 **ファンクション（FUNC）ボタン**
ラジオモード、CDモード、CDチェンジャーモードを切換えます。

17 **ランダム（RDM）ボタン**
CDモード／CDチェンジャーモード時に、ランダム演奏します。

18 **スキャン（SCN）／オートストア（AS）ボタン**
ラジオモード時は、プリセットスキャン、オートストアします。
CDモード／CDチェンジャーモード時は、10秒間ずつスキャン演奏します。

19 **電源（ON）スイッチ／ボリューム（VOL）調節／バランス（BAL）調整ツマミ**
電源のON／OFF、音量の調節、左右バランスの調整をします。

20 **フェダー（FAD）調整ツマミ**
音量の前後バランスを調整します。

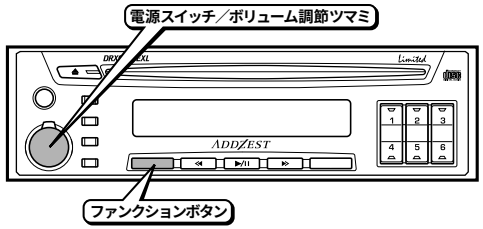
a **DISC INインジケーター**
CD挿入口にCDを入れると点灯します。

b **ディスク／プリセットインジケーター**
CDチェンジャーモード時に、CDチェンジャーのCD装着状況（マガジン内に入っているCDのディスクNo.が点灯）を点灯表示します。
ラジオモード時は、プリセット受信しているチャンネルのインジケーターが点灯します。

電源を入れる／音量調節、モード選択する

⚠ 警告

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてください。また、走行中にピラーアンテナやルーフアンテナの引伸ばし操作をしないでください。

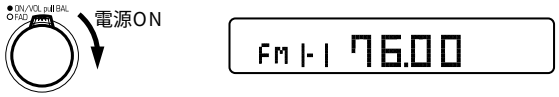


(注)
- **バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、できるだけエンジンをかけた状態で行ってください。**

電源を入れるには

1 エンジンをかける（ACCまたはエンジンONの位置にする）

2 電源スイッチをカチッと音がするまで右へ回す



➜前回の電源を切ったときのモードで電源が入ります。

- 時刻の設定は、14ページをご覧ください。

電源を切るには

電源スイッチをカチッと音がするまで左へ回す

➜電源が切れます。

⚠ 注意

運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

音量を調節するには

ボリューム調節ツマミを回す

- CDチェンジャーを接続していない場合は、CDチェンジャーモードには切換わりません。

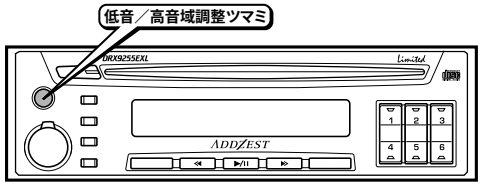
(注)
- **CDチェンジャーにCDが1枚も入っていないとき、CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは、「DISC」の表示が点滅します。**

モードを選ぶには

ファンクションボタンを押して、モードを選ぶ

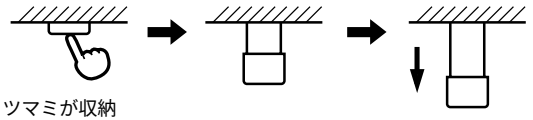
➜押すたびに、右のように切換わります。

音質を調整する



1 低音／高音域調整ツマミを押して出す

<上から見た図>

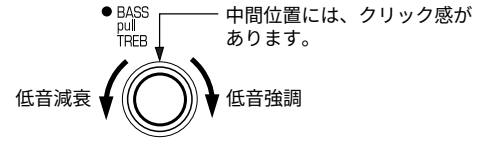


<低音(BASS)調整時> <高音(TREBLE)調整時>

- もう一度ツマミを押すと収納されます。

低音域（BASS）を調整するには

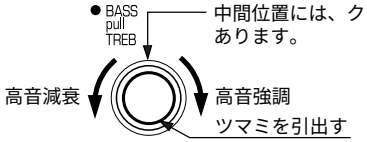
2 低音／高音域調整ツマミを回して調整する



➜調整が終わったら、ツマミを押して収納してください。

高音域（TREBLE）を調整するには

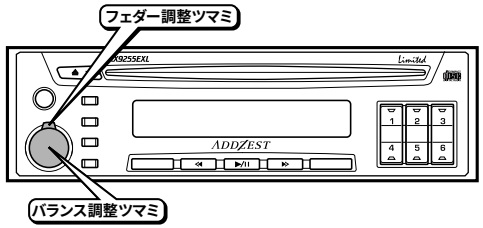
2 手順1でツマミが出た状態から、さらにツマミを手で引出し（少しきつめになっています）、回して調整する



➜調整が終わったら、ツマミを押して収納してください。

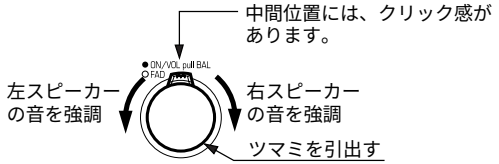
(注)
- **ツマミはゆっくり引出してください。強く引出すと、ツマミがはずれてしまいます。**

バランス、フェダーを調整する



バランスを調整するには

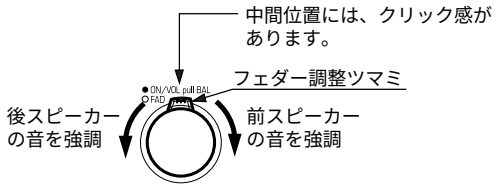
バランス調整ツマミを引出してから、回して調整する



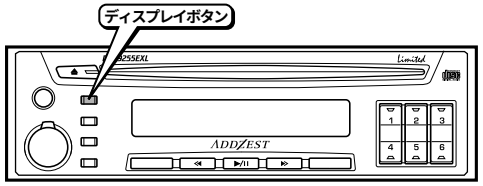
➜調整が終わったら、ツマミを戻してください。

フェダーを調整するには

フェダー調整ツマミを回して調整する



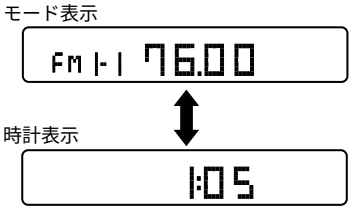
ディスプレイの表示を切換える



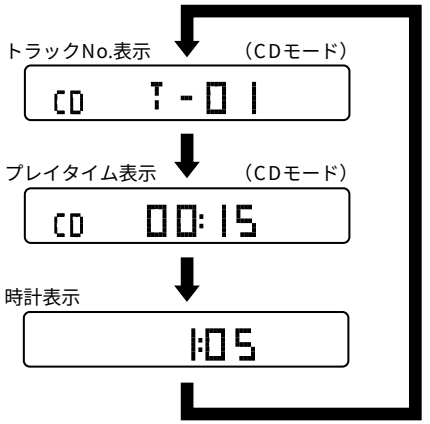
ディスプレイボタンを押す

➜押すたびに、次のように切換わります。

＜ラジオモードの場合＞

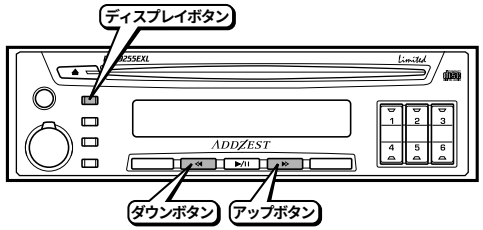


＜CDモード／CDチェンジャーモードの場合＞



- 時計表示のときは、他のボタン操作で表示が変わっても、そのボタン操作から約4秒後には時計表示に戻ります。

時刻を合わせる



(注)
- **時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻調整は解除されます。**
- **点検や修理などでバッテリーをはずすと、時計も止まります。もう１度時刻合わせをしてください。**

時刻を合わせるには

1 ディスプレイボタンを押して、時計表示にする

2 ディスプレイボタンを2秒以上押続ける

➜時刻表示が点滅します。

- 時計は12時間表示で、午前午後の表示はありません。

3 アップボタン／ダウンボタンを押して時刻を合わせる
押続けると、早く進む

＜時のセット＞　　**＜分のセット＞**

押すたびに時が進みます

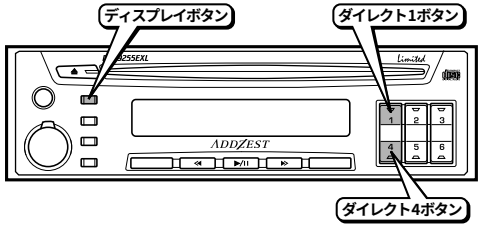
押すたびに分が進みます

4 ディスプレイボタンを押す

➜秒がリセットされて、時刻がセットされます。

- 時刻を確認するときは、時計表示に切換えて確認してください。

ビープ音のON／OFFと照明色の切換



スイッチ操作時のビープ音をON／OFFするには

ディスプレイボタンを押しながら、ダイレクト4ボタンを押す（2重押し）

➜ビープ音がONまたはOFFに切換わります。

＜ビープ音ONの場合＞

- ビープ音OFFの場合は、BEEP→OFFを表示します。

照明色を切換えるには

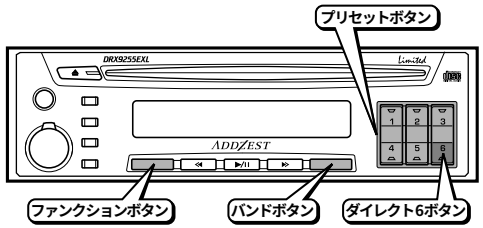
ディスプレイボタンを押しながら、ダイレクト1ボタンを押す（2重押し）

➜ディスプレイ部以外の照明色が、アンバーまたはグリーンに切換わります。

基本の操作

ラジオ放送を聴く

プリセット選局について
あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。



モードの切換え
ファンクションボタンを押すたびに、モードが次のように切換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオモード → CDモード → CDチェンジャーモード → ラジオモード

- ステレオ放送受信時は、「ST」が点灯します。

バンドの切換え
バンドボタンを押すたびに、次のように切換わります。

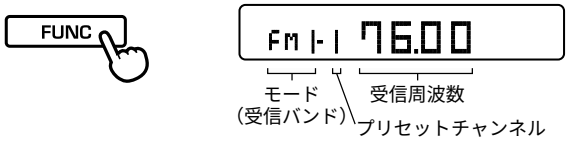
FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1

- プリセットボタンにメモリーするときは、「放送局をメモリーする」(P19)をご覧ください。

- 受信したい放送局の電波が弱い場合などに、「OFF」(モノラル)に設定すると、より良好に受信できます。

ラジオモードを選ぶには

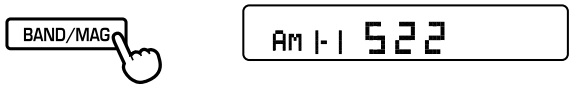
1 ファンクションボタンを押して、ラジオモードを選ぶ



➜ラジオを受信します。

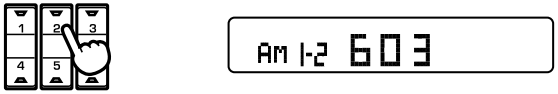
選局するには(プリセット選局)

2 バンドボタンを押して、FM1、FM2またはAM1、AM2を選ぶ



3 プリセットボタン(1〜6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ

<プリセットボタン2を押した場合の表示例>



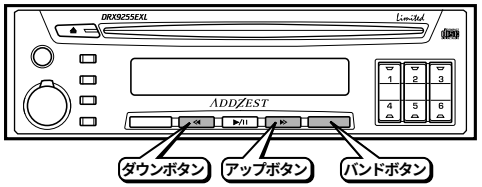
AMステレオ／モノラルを切換えるには

AM放送受信時に、バンドボタンを押しながらダイレクト6ボタンを押す(2重押し)

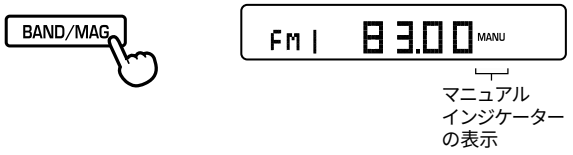
(**ON**または**OFF**を表示)

➜AMステレオ(ON)／モノラル(OFF)が交互に切換わります。

選局する



1 バンドボタンを押して、FM1、FM2またはAM1、AM2を選ぶ



自動選局するには

2 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを2秒以上押続ける

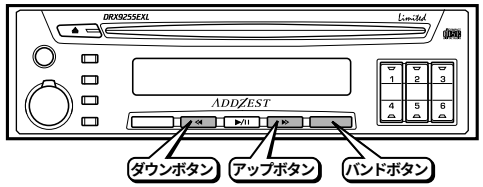
(**MANU**が消灯)

➜「MANU」が消灯しているときは、自動選局です。

3 アップボタン／ダウンボタンを押す

➜放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

選局する



手動選局するには（マニュアル選局）

2 **「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを2秒以上押続ける**

BAND/MAG （**MANU**が点灯）

➜「MANU」が点灯しているときは、MANUAL選局です。

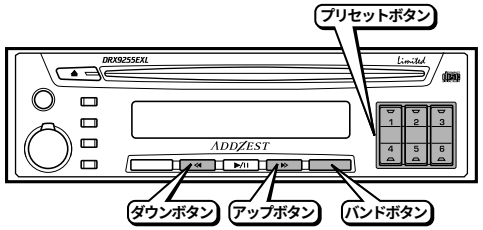
3 **アップボタン／ダウンボタンを押して、放送のあるところに合わせる**

周波数アップ

FM1 83.10 MANU

周波数ダウン

放送局をメモリーする（プリセットメモリー）



プリセットメモリーについて
プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2の各バンドごとに6局ずつ、計24局です。

プリセットメモリーするには（マニュアルメモリー）

1 **バンドボタンを押して、メモリーしたいバンド（FM1、FM2またはAM1、AM2）を選ぶ**

BAND/MAG FM1 83.00

2 **アップボタン／ダウンボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ**

周波数アップ

FM1 83.10

周波数ダウン

- 選局については「選局する」（P17）をご覧ください。

3 **メモリーさせたいプリセットボタン（1～6）を2秒以上押続ける**

＜プリセットボタン5を押した場合の表示例＞

FM1-5 83.10

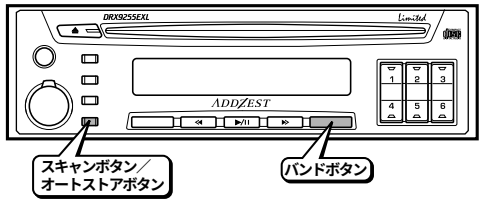
➜プリセットボタン5にメモリーされます。

(注)
- **プリセットメモリーすると、これまでメモリーしていた内容は消去されます。**

ラジオの操作

放送局をメモリーする（プリセットメモリー）

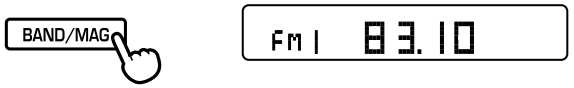
オートストア機能について
自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。



（注）
- **自動メモリーすると、これまでのメモリー内容は消去されます。**
- **自動メモリーは、プリセット6局のメモリーが完了するまで、順にメモリーしていきます。**
- **メモリーできる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってからメモリーします。また、自動メモリーを2回繰返しても6局に満たない場合は、メモリーされなかったプリセットボタンには、それまでのメモリーが残ります。**
- **すでにメモリーしている放送局を、別のプリセットボタンにメモリーすることはありません。**

自動メモリーさせるには（オートストア）

1 **バンドボタンを押して、メモリーさせたいバンド（FM1、FM2またはAM1、AM2）を選ぶ**

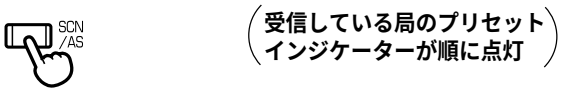


2 **オートストアボタンを2秒以上押続ける**

➜受信電波の強い放送局が、自動的にプリセットボタン（1～6）にメモリーされます。

放送局を確かめるには（プリセットスキャン）

スキャンボタンを押す



➜メモリーされた放送局を、順に7秒間ずつ受信します。

■聴きたい放送局を受信したら

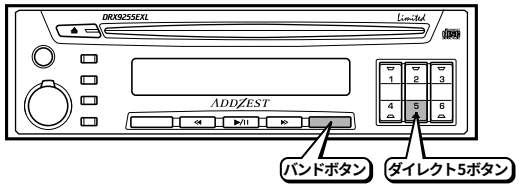
もう1度、スキャンボタンを押す

➜プリセットスキャンが解除され、通常のラジオ受信に戻ります。

- 受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。
- スキャンボタンを2秒以上押続けるとオートストアになりますのでご注意ください。

FMダイバーシティをON／OFFする

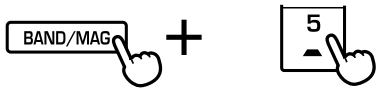
FMダイバーシティ機能について
FM放送受信時に、受信電波の強いアンテナに自動的に切換えます。



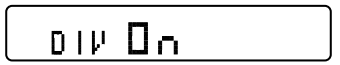
FMダイバーシティをON／OFFするには

1 **FM放送を受信する**

2 **バンドボタンを押しながら、ダイレクト5ボタンを押す**



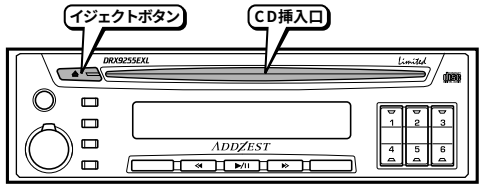
＜FMダイバーシティONの場合＞

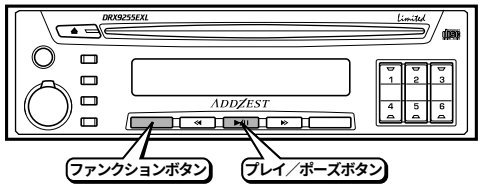


➜FMダイバーシティのONとOFFが交互に切換わります。

- アンテナを2本接続したときは「ON」に、アンテナを1本接続したときは「OFF」に設定してください。（工場出荷時は、「ON」に設定されています。）設定を間違えると、ノイズの原因となります。
- FMダイバーシティOFFの場合、「DIV OFF」を表示します。

CDを聴く（CDモード）





⚠注意

CD挿入口に手や指を入れないでください。また異物を入れないでください。

(注)

- **すでにCDが入っている場合には、CDは入れられません。無理に入れないでください。**
- **本機は COMPACT DIGITAL AUDIO マーク表示のあるコンパクトディスク以外はご使用になれません。**
- シングルCDにアダプターを使用しないでください。

表示の切換え

CDモード／CDチェンジャーモード時にディスプレイボタンを押すと、トラックNo.表示、プレイタイム表示、時計表示に切換わります。

- CDをイジェクトしたままにしておくと、15秒後に本機内に引込まれます（オートリロード）。

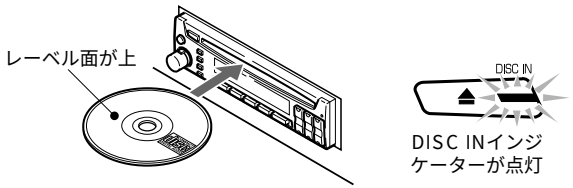
(注)

- **シングルCDはオートリロードされません。イジェクトした場合は、シングルCDを取出してください。**

CDを入れるには

CD挿入口にCDを入れる

シングルCDは、CD挿入口の中央へ入れる（アダプター不要）

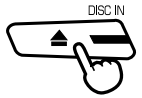


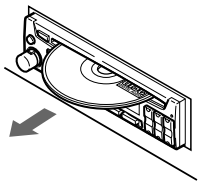
DISC INインジケーターが点灯

➜CDが引込まれ、CDモードに切換わって演奏を始めます。

CDを取出すには

イジェクトボタンを押す

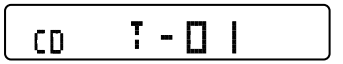




➜CDがイジェクトされます。

すでに入っているCDを聴くには

ファンクションボタンを押して、CDモードを選ぶ



トラックNo.を表示

➜CDモードになると、自動的にCD演奏を始めます。

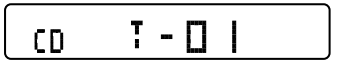
■演奏を止める(一時停止する）には

プレイ／ポーズボタンを押す

PAUSを表示

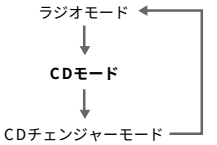
■演奏を再開するには

もう1度プレイ／ポーズボタンを押す



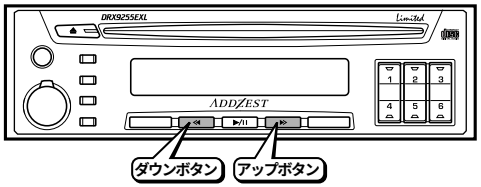
モードの切換え

ファンクションボタンを押すたびに、モードは次のように切換わります。（接続していない機器のモードは表示しません）



CDの操作

CDを聴く（CDモード）



次の曲／前の曲を選ぶには

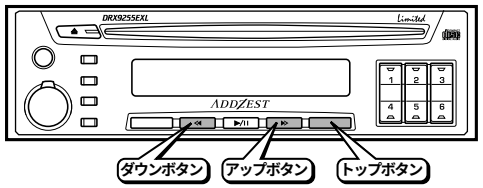
次の曲はアップボタン、前の曲はダウンボタンを押す
押した回数だけ、先の曲または後の曲を演奏する

前の曲
（1回押すと曲の頭）

（**トラックNo.**が変わる）

次の曲

➜指定した曲を演奏します。
ダウンボタンを1回押すと、演奏中の曲の頭に戻ります。



早送り／早戻しするには

早送りするときにはアップボタン、早戻しするときはダウンボタンを押続ける

早戻し　　早送り

最初の曲から聴くには（トップ機能）

トップボタンを押す

➜最初の曲（トラックNo.1）から演奏します。

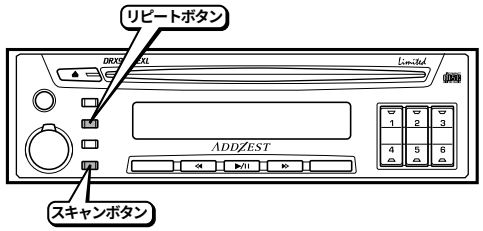
トップ機能について
CDモード時に、演奏しているCDの最初の曲から演奏をはじめます。

CDの操作

いろいろな演奏のしかた

スキャン演奏について
CD内の全曲を10秒間ずつ演奏します。

リピート演奏について
演奏中の曲を繰返し演奏します。



聴きたい曲を探すには（スキャン演奏）

スキャンボタンを押す

SCNが点灯

➜演奏している曲の次の曲から、各曲を10秒間ずつ演奏します。

■探している曲が演奏されたら

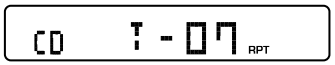
もう1度、スキャンボタンを押す

（**SCN**が消灯）

➜スキャン演奏が解除され、その曲から演奏します。

繰返し聴くには（リピート演奏）

リピートボタンを押す



RPTが点灯

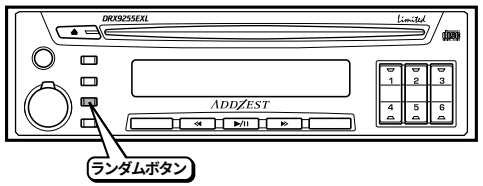
➜いま演奏している曲を、繰返し演奏します。

■リピート演奏を解除するには

もう1度、リピートボタンを押す

（**RPT**が消灯）

➜演奏している曲から通常の演奏になります。



ランダム演奏について
CDの曲を順不同に演奏します。

ランダムに演奏を聴くには

ランダムボタンを押す

RDMが点灯

➜CDの全曲を、順不同に演奏します。

■ランダム演奏を解除するには

もう１度ランダムボタンを押す

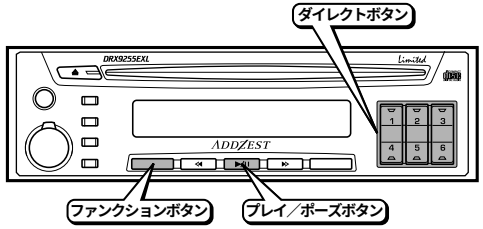
（**RDM**が消灯）

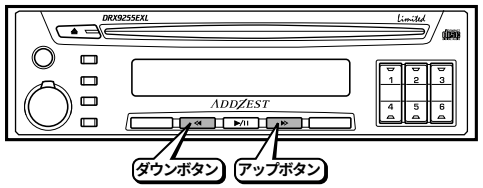
➜演奏している曲から通常の演奏になります。

CDの操作

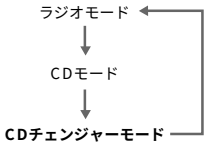
CDチェンジャーでCDを聴く（CDチェンジャーモード）

CDチェンジャーについて
本機は、別販のC-BUS CDチェンジャーを接続してコントロールできます。
1つのマガジンには、6枚のCDを収納できます。





モードの切換え
ファンクションボタンを押すたびに、モードが次のように切換わります。（接続していない機器のモードは表示しません）



（注）
- **CDチェンジャーにマガジンが入っていないとき、マガジン内にCDが入っていないときには、「DISC」を点滅表示します。**

表示の切換え
- CDモード/CDチェンジャーモード時にディスプレイボタンを押すと、トラックNo.表示、プレイタイム表示、時計表示が切換わります。
- CDが入っていないマガジンのディスクナンバーは飛び越して演奏します。

CD-ROMについて
本機で、CD-ROMの操作はできません。
CD-ROMをご使用にならないでください。

CDチェンジャーモードを選ぶには

ファンクションボタンを押して、CDチェンジャーモードを選ぶ

ディスクNo. トラックNo.

➜CDチェンジャーモードになると、自動的にCDの演奏をはじめます。

■演奏を止める（一時停止する）には

プレイ／ポーズボタンを押す

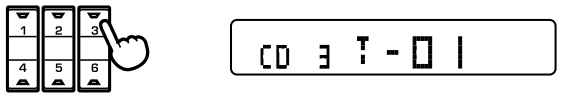
PAUSを表示

■演奏を再開するには

もう1度、プレイ／ポーズボタンを押す

聴きたいCDを選ぶには

ダイレクトボタン（1～6）を押して、聴きたいCDを選ぶ



入っているCDのインジケーターが点灯しています。

次の曲／前の曲を選ぶには

次の曲はアップボタン、前の曲はダウンボタンを押す
押した回数だけ先の曲または前の曲を演奏する

前の曲
（1回押すと曲の頭）

（**トラックNo.**が変わる）

次の曲

➜指定した曲を演奏します。
ダウンボタンを1回押すと、演奏中の曲の頭に戻ります。

早送り／早戻しするには

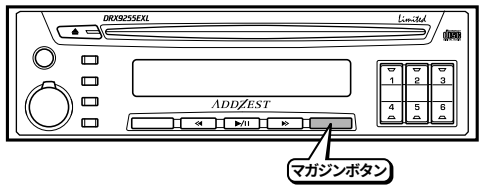
早送りするときはアップボタン、早戻しするときはダウンボタンを押続ける
1秒以上押すと3倍速で、3秒以上押すと30倍速で、演奏曲を早送りまたは早戻しする

早戻し

早送り

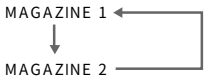
CDチェンジャーでCDを聴く(CDチェンジャーモード)

マガジンロックについて
複数マガジン対応の12ディスクCDチェンジャーを接続している場合に、1つのマガジンのCDだけを演奏します。



マガジンの切換え
マガジンボタンを押すたびに、次のように切換わります。

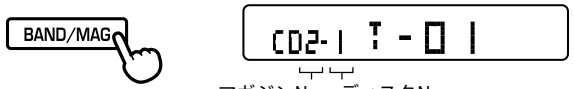
(12ディスクCDチェンジャーの場合の例)



- 複数マガジンのCDチェンジャー接続時は、ディスプレイにマガジンNo.を表示します。
- マガジンロック中でも、他のマガジンを選ぶことができます。選んだ後は、そのマガジンがマガジンロックされます。
- マガジンロックすると、スキャン演奏やランダム演奏は、ロックされたマガジン内で行います。

聴きたいマガジンを選ぶには

マガジンボタンを押す

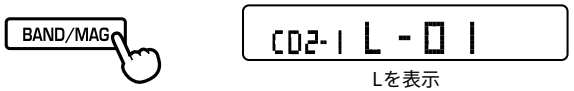


マガジンNo. ディスクNo.

➜次のマガジンに切換わり、1枚目のCDの1曲目から演奏します。

1つのマガジンだけを聴くには(マガジンロック)

マガジンボタンを2秒以上押続ける



Lを表示

➜現在表示されているマガジン内のCDのみを演奏します。

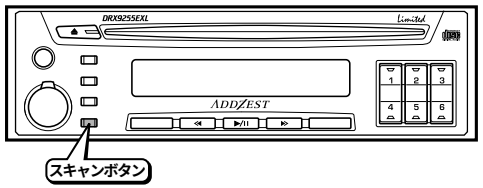
■マガジンロックを解除するには

もう1度、マガジンボタンを2秒以上押続ける

いろいろな演奏のしかた

スキャン演奏について
CDチェンジャー内のCDの全曲を10秒間ずつ演奏します。

ディスクスキャン演奏について
CDチェンジャー内の全CDの最初の曲を、10秒間ずつ演奏します。



スキャン演奏させるには

スキャンボタンを押す

SCNが点灯

➜演奏している曲の次の曲から、スキャン演奏をはじめます。

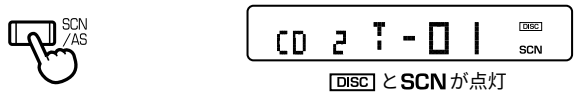
■スキャン演奏を解除するには

もう1度、スキャンボタンを押す

(**SCN** が消灯)

ディスクスキャン演奏させるには

スキャンボタンを2秒以上押続ける

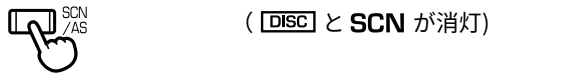


DISC と**SCN**が点灯

➜演奏しているCDの次のCDから、ディスクスキャン演奏をはじめます。

■ディスクスキャン演奏を解除するには

もう1度、スキャンボタンを押す



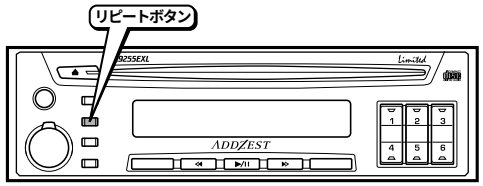
(DISC と **SCN** が消灯)

CDチェンジャーの操作

いろいろな演奏のしかた

リピート演奏について
演奏中の曲を繰返し演奏します。

ディスクリピート演奏について
演奏中のCDを繰返し演奏します。



リピート演奏するには

リピートボタンを押す

RPTが点灯

■リピート演奏を解除するには

もう1度、リピートボタンを押す

(**RPT**が消灯)

ディスクリピート演奏するには

リピートボタンを2秒以上押続ける

DISC と **RPT**が点灯

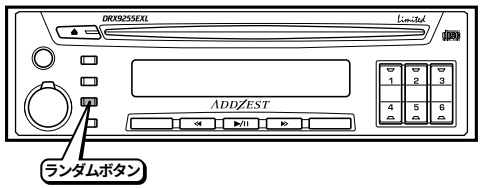
■ディスクリピート演奏を解除するには

もう1度、リピートボタンを押す

(DISC と **RPT** が消灯)

ランダム演奏について
演奏中のCDの曲を順不同に演奏します。

ディスクランダム演奏について
CDチェンジャー内のCDの全曲を、順不同に演奏します。



ランダム演奏するには

ランダムボタンを押す

RDMが点灯

■ランダム演奏を解除するには

もう1度、ランダムボタンを押す

(**RDM**が消灯)

ディスクランダム演奏するには

ランダムボタンを2秒以上押続ける

DISC と **RDM**が点灯

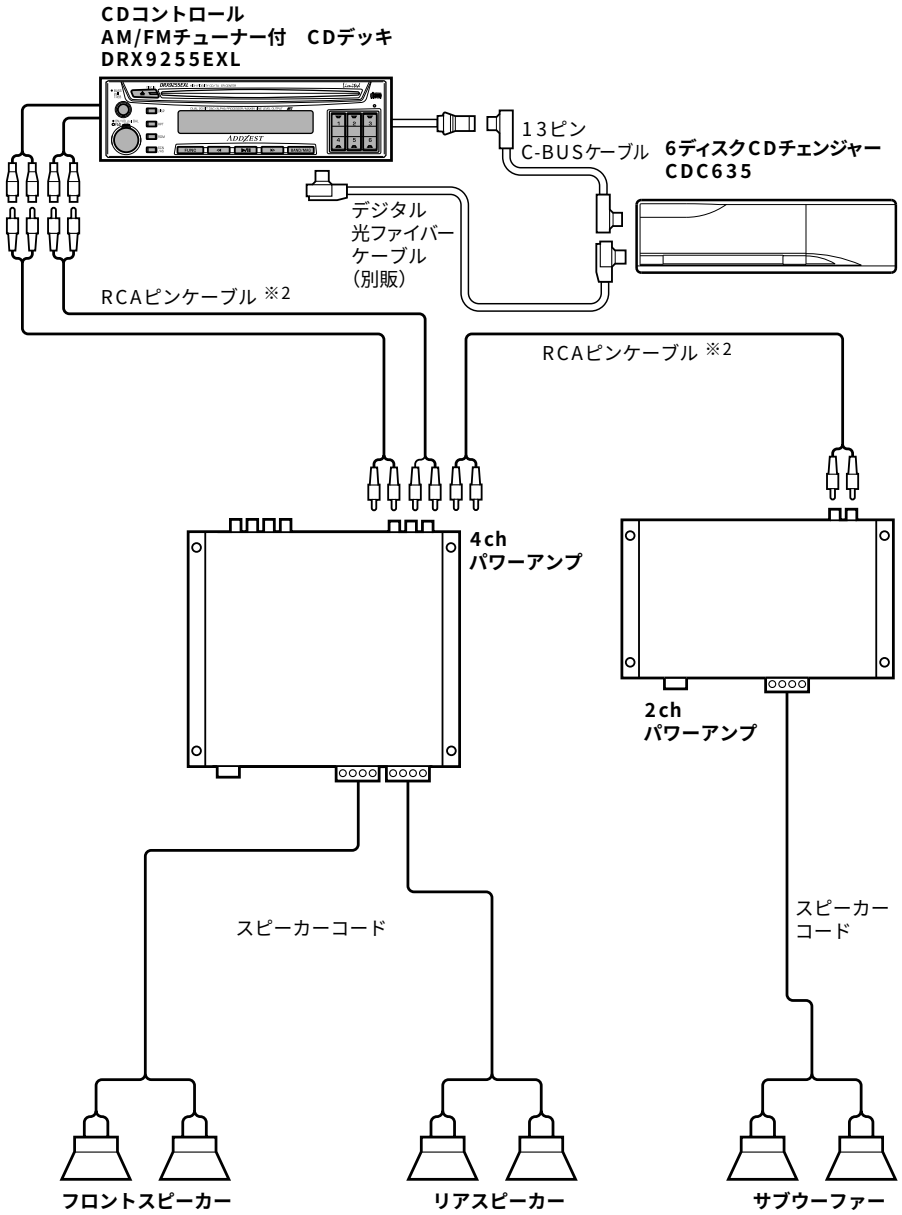
■ディスクランダム演奏を解除するには

もう1度、ランダムボタンを押す

(DISC と **RDM**が消灯)

CDチェンジャーの操作

システム配線例



※**1** 詳しくは、別添の『取付・結線ガイド』をご覧ください。
※**2** それぞれの機種に付属のものまたは、別販品〈CCA-300〈2m〉、CCA-301〈5m〉〉等をご使用ください。

システムアップについて

■CDチェンジャーとの接続

別販のCDチェンジャーCDC635を接続してコントロールできます。

■デジタルダイレクト接続について

光デジタル出力端子のあるCDチェンジャーやCDデッキは、デジタルダイレクト接続により、本機の高性能D/Aコンバーターを使用してハイクオリティサウンドをお楽しみいただけます。
（別販のデジタル光ファイバーケーブルが必要です。）

■CDデッキ、ビジュアルオーディオシステムユニットとの接続

C-BUSマークのついているCDデッキ、ビジュアルオーディオシステムユニットなど、外部機器を操作しているときには本機のディスプレイに「ACCS」と表示されます。
上記機種の動作中、オーディオモードの調整は本機で行います。また、外部機器が動作中でも、ファンクションボタンを押すと本機の動作に切換わります。

■別販C-BUS拡張ボックス（RCB-037）について

CDチェンジャーとC-BUSマークのついているCDデッキなどを同時に接続する場合、別販のC-BUS拡張ボックスが必要です。
ただし、C-BUSマークのついているCDデッキとビジュアルシステムユニットなどを同時に接続することはできません。

■ナビゲーションシステムとの接続

ナビゲーションシステムは、本機に接続されるビジュアルオーディオシステムユニットと接続します。
詳しくは、テレビ、ナビゲーションのそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

その他

ご参考に

⚠ 注意

ディスプレイ部などの樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質や、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

本体のお手入れについて

●本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。

取り扱い上の注意

●車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用するとCDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

⚠ 警告

本機を分解したり改造したりしないでください。事故や火災、感電の原因となります。

●本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることは、やめてください。

●CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

●8cmシングルCDをイジェクトしたままでの走行は避けてください。走行中の振動によりCDが落下するおそれがあります。

本機のディスプレイ部（アクリル部品）の一部分に細い筋が見える場合があります。
これは製造過程でやむを得ず発生するもので、「キズ」や「ひび割れ」等ではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

CDについて

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったCDをご使用ください。

また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

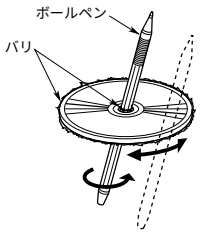
■取り扱い上のご注意

●ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンで文字などを記入しないでください。

●CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるものは使用しないでください。そのままCDプレーヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

●ディスク面には、傷や指紋をつけないように扱ってください。

●新しいCDには、周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなCDを使用すると、動作しなかったり、音飛びの原因となります。バリのあるCDは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

●直射日光の当たる場所

●湿気やホコリの多い場所

●暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

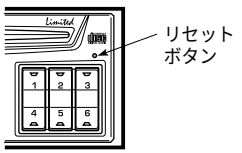
●汚れたときには、やわらかい布で、ディスクの内側から外側へ向かって、よくふいてください。

●従来のレコードクリーナー液やアルコールなどは、使用しないでください。

●CD専用クリーナーを使用した場合は、よく乾燥させてからお使いください。

その他

故障と思われる前に

現　象	原　因	処　置
電源が入らない （音が出ない）	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください（メイン電源…3A）。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	配線が不完全	お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
CDがすぐ出てしまう	CDを裏表逆に入れている	CDのレーベル面を上にして入れてください。
音飛びする ノイズなどが入る	CDが汚れている	CDを柔らかい布でふいてください。
	CDに大きい傷やソリがある	CDを無傷なものと交換してください。
電源を入れた直後音がよくない	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして約1時間乾燥させてください。
ボタンを押しても動作しない ディスプレイに正確な表示がされない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを細い棒などで約2秒間押してください。 **（注）** リセットボタンを押すときは、音量を最小にしてから押してください。 

エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときには、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に復帰します。

エラー表示	原　因	対処方法
Err2	CDが引っかかってイジェクトされないときの表示	本機またはCDチェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、販売店にご相談ください。
Err3	CDに傷などがあり、演奏できないときの表示	本機またはCDチェンジャーのCDを傷やソリのないCDと交換してください。
Err6	CDチェンジャーのCDが裏返しに入っていて、演奏できないときの表示	CDを正しく入れ直してください。
HHHH	本機またはCDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に再生を停止させたときの表示	本機またはCDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。

ここに上げているエラー以外の表示が出たときは、38ページを参照してリセットボタンを押してください。
それでも、復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が別途添付されています。お買求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買求めの日より1年間です。

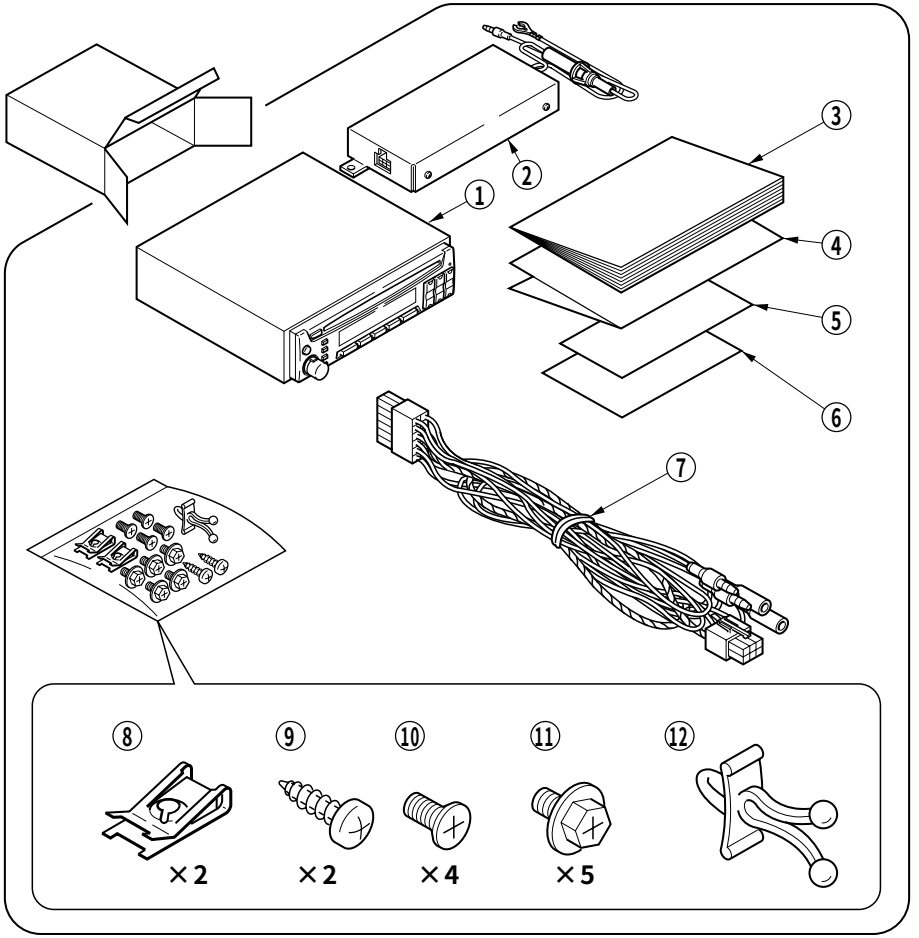
■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

製品構成



① **本体（DRX9255EXL)**
② DC/DCコンバーター.....1個
③ 取扱説明書.....1部
④ 取付・結線ガイド.....1部
⑤ 修理相談窓口リスト.....1部
⑥ 保証書.....1部
⑦ 電源コード.....1本
⑧ プレートナット.....2個
⑨ タッピングスクリュー（5×16）.....2本
⑩ サラネジ（M5×8）.....4本
⑪ セムス六角ボルト.....5本
⑫ ケーブルクリップ.....1個

仕　様

■CDプレーヤー部

周波数特性	：5Hz～20kHz ±0.5dB
SN比	：110dB
ダイナミックレンジ	：100dB
高調波ひずみ率	：0.005%
出力レベル	：4V（負荷10kΩ）

■FMチューナー部

受信周波数	：76.0MHz～90.0MHz
実用感度	：12dBf（新IHF）
50dBクワイティング感度（モノラル）	：18dBf（新IHF）
周波数特性	：30Hz～15kHz ±3dB
SN比	：70dB（IHF•A）
高調波ひずみ率（ステレオ）	：0.6%（1kHz）
分離度	：35dB（1kHz、60dBf）
出力レベル	：600mV（負荷10kΩ）

■AMチューナー部

受信周波数	：522kHz～1,629kHz
実用感度	：26dB（μV）
SN比	：50dB（MONO）
分離度	：25dB（400Hz）

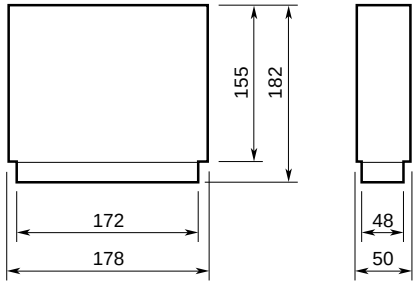
■オーディオ部

トーンコントロール	：BASS　±12dB（50Hz） TREBLE ±12dB（10kHz）

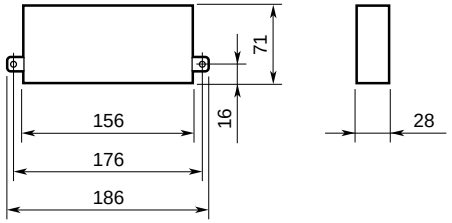
■共通部

接地方式	：マイナスアース
電源電圧	：DC14.4V
消費電流	：1.1A
ヒューズ定格	：メイン電源　3A
取付寸法	：本体 178（幅）×50（高さ）×155（奥行き）mm DC/DCコンバーター 156（幅）×28（高さ）×71（奥行き）mm
外形寸法	：本体 178（幅）×50（高さ）×182（奥行き）mm DC/DCコンバーター 186（幅）×28（高さ）×71（奥行き）mm
質　量	：本体　1.7kg DC/DCコンバーター　0.3kg

〈本体〉



〈DC/DCコンバーター〉



その他

クラリオン株式会社

本　　社　　〒112-0001　東京都文京区白山5-35-2
TEL.0120-112-140（フリーダイヤル）
お問合わせは、お客さま相談室へ

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

お客さまへ…… ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
修理などの依頼のときに便利です。

Printed in Japan　1999/10（CL･K）　　PA-2212A　280-7446-00